

文部科学省 持続的な産学共同人材育成システム構築事業
『KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築』

REIM産学連携コンソーシアム合同会議

リカレント教育プログラム開発部会(令和2年度第1回)

会議名	R E I M産学連携コンソーシアム合同会議 リカレント教育プログラム開発部会（令和2年度第1回）			
日時	令和2年6月19日（金）10:00～11:30			
場所	キャンパスプラザ京都 第3会議室			
出席者（8名、敬称略）：				
カテゴリ	所属	役職	氏名	備考
連携企業	一般社団法人近畿建設協会	チーフ	小室 篤史	
連携企業	西日本高速道路株式会社	関西支社 調査役（橋梁担当部長）	佐溝 純一	
連携校	長岡工業高等専門学校	助教	白井 一義	
連携校	福井工業高等専門学校	特命助教	宮川 清剛	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	玉田 和也	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命准教授	嶋田 知子	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	特命助教	掛 國恵	
連携校	香川高等専門学校	助教・社会基盤メンテナンス教育センター 副センター長	入江 正樹	
オンライン出席（計10名、敬称略）：				
連携企業	一般社団法人建設コンサルタンツ 協会	近畿支部 参与（建コン協近畿）	廣瀬 彰則	
連携校	福島工業高等専門学校	特命助教	浅野 貴元	
連携校	長岡工業高等専門学校	准教授	陽田 修	
連携校	長岡工業高等専門学校	特命助教	丸山 聰	
連携校	福井工業高等専門学校	教授	辻野 和彦	
連携校	福井工業高等専門学校	嘱託教授	阿部 孝弘	
代表校	舞鶴工業高等専門学校	准教授	毛利 聰	
連携校	香川高等専門学校	准教授・社会基盤メンテナンス教育センター長	林 和彦	
連携校	香川高等専門学校	助教	長谷川 雄基	
連携校	放送大学学園	課長補佐、社会連携コーディネーター	樋口 徹	

議事次第

1. 趣旨説明 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也
2. 部会長の選出
3. リカレント教育プログラムの開発について
 - (1)リカレント教育プログラム体系(全体)
 - (2)専門特修講座開発スケジュール
 - (3)専門特修講座開発方針
 - 1 専門特修講座【橋梁長寿命化対策】
 - 2 専門特修講座【構造物の詳細調査】
 - 3 専門特修講座【施工技術と施工管理】
 - 4 専門特修講座【建設ICT】
4. 実証講座の開催について
 - (1)e+iMec講習会【構造物の詳細調査】実証講座の開催概要
5. まとめ

【開催状況】



写真1 西日本高速道路株式会社関西支社
佐溝純一調査役（部会長）



写真2 舞鶴高専 玉田和也教授
(趣旨説明)



写真3 リカレント教育プログラム開発部会



写真4 リカレント教育プログラム開発部会



写真5 受付

文部科学省 持続的な産学共同人材育成システム構築事業
『KOSEN型産学共同インフラメンテナンス人材育成システムの構築』

REIM産学連携コンソーシアム合同会議

リカレント教育プログラム開発部会(令和2年度第1回)

議事録

1. 趣旨説明 舞鶴工業高等専門学校 建設システム工学科 教授 玉田 和也

2. 部会長の選出

- ✓ 玉田委員が部会長に佐溝委員を推薦し、全会一致で承認。佐溝部会長が副部会長に陽田委員を指名。
- ✓ 部会長 佐溝 純一 委員 (西日本高速道路株式会社)
- ✓ 副部会長 陽田 修 委員 (長岡工業高等専門学校)

3. リカレント教育プログラムの開発について

- (1)リカレント教育プログラム体系(全体)
- (2)専門特修講座開発スケジュール
- (3)専門特修講座開発方針
 - 1 専門特修講座【橋梁長寿命化対策】
 - 2 専門特修講座【構造物の詳細調査】
 - 3 専門特修講座【施工技術と施工管理】
 - 4 専門特修講座【建設ICT】

- ✓ 専門特修講座4講座は、点検・診断のための教育内容として非常に充実している。
- ✓ プログラム開発にあたっては、多くの実務者や専門企業の協力を得ることが必要である。eラーニングや講習会で活用できる写真や動画等の提供を求めている。
- ✓ 専門特修講座4講座を1年で全て受講するのは難しい。2年程度が目安になるのではないか。
- ✓ 「建設ICT」など進歩が著しい講座は、常にバージョンアップしていくことが必要。
- ✓ 受講生(修了生)への継続的なサポート体制の検討も必要である。
- ✓ CPD付与や、履修証明プログラム(BP)に対する助成制度を活用することで、地元企業の受講と受講促進に繋がる。
- ✓ 国の動向として、学生に対するデータサイエンス教育を進める動きがあり、今後はAI等が必修になる。社会人には、学生時代に学ばなかつた教育に対するリカレント教育ニーズがある。

4. 実証講座の開催について

(1)e+iMec講習会【構造物の詳細調査】実証講座の開催概要

✓7月18日～19日に舞鶴高専で実施する。受講者は、京都府社会基盤メンテナンス推進

協議会の参画機関に所属する若手土木技術者10名。受講料は無料。

※7月18日～19日に予定していた実証講座は、新型コロナ感染症の影響で秋へ延期。

(2020. 6. 23決定)

5. まとめ

✓合同会議にて、陽田副部会長より部会報告を行う。

以上